

短歌

澤 絢子・西村考史・福田美知子・前川登代子・宮本照男 選

知事賞

午前二時幻視幻聴騒ぐ妻に介護の覚悟揺らぐ一瞬

松山 武(野洲市)

特選・共同通信社賞

つぶやいてページをめくった英和辞書小口に残したまなびの時間

中村 宣之(甲賀市)

特選

百歳の命一杯に生きし兄か自坊の寺報六百九十号を残す

木村 正子(多賀町)

特選・読売新聞社賞

難病を告げられし吾子抱く帰路の空埋めつくす高き翳雲

小林 恭子(東近江市)

特選・毎日新聞社賞

絵日記の中の景色を覗きつつ子どもの夏の目線をかりる

河口 香（東近江市）

特選

炎天へ飛んでいくほど膨らんだ左官職人のファン付き作業着

山本 弘美（大津市）

特選

「でかしゃった」子ども歌舞伎の乳母になり何度も叫んだ台詞は消えぬ

山本 洋祐（大津市）

特選

たそがれて妻の行方の知れぬとき情報ネットにかかれと祈る

嶋田 久男（草津市）

特選

棧橋の川鶉一列に並びいて湖色うみいろ深し息子こら帰京せり

山本 富美子（高島市）